



サイジヤナル

月刊
4-9-10
第465号

日本サイ科学会 令和4年9月1日発行

本部 〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 郵便振替 00100-2-15344 日本サイ科学会
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp

東 北 〒981-0904 仙台市青葉区 旭ヶ丘1-36-1アサビル201号 佐佐木 康 二 ☎ 022 (279) 0908・FAX 022 (274) 0097	中 部 〒455-0053 名古屋市港区 名四町113 眞 野 博 英 ☎ 090-9196-2963	北 陸 〒920-0031 金沢市広岡2-7-25 プレミス金沢駅西口1 804号 佐 藤 禎 花 ☎ 076 (234) 2034	関 西 〒545-0034 大阪市阿倍野区 阿倍野元町1-2 和 田 高 幸 ☎ 06 (6624) 0569・FAX 06 (6624) 5061	九 州 〒814-0015 福岡市早良区 室見1-1-3-2F 伽 羅 ☎ 070 (7782) 6216・FAX 092 (846) 8200
---	--	---	---	---

九月本部例会のお知らせ

この世の人生で活躍、満足
する方法とは？

講師 飛沢誠一氏

日時 令和4年9月18日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ9階902会議室
J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改

札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

講演内容

実際多くの人がこの世に生まれて活躍して、有意義な人生を送りたいと願っている。しかしながら多くの人が自分の人生に満足感が得られない状態で人生を終わっている。ところが多くはないが、自分の人生をとて満足して、幸せな一生だったと感謝して死んでいく方もいます。この差はなんでしようか？一般的には人生は能力、努力や運等で決まっていると思わ

れているが、実際には異なります。

私は500人程の方々の過去世をリーディングして今生のアウトプットと過去世(5世代)、今生の人生の活性度、人生の波動の高さの三つのパラメーターの相関関係をまとめて観ると、今世のアウトプット(人生の満足度、社会への貢献度、金銭的な評価)とこの三つのパラメーターの関係が定性的に表現できる事が分かりました。今回の報告ではこの相関について、なるべく定量的な相関式で説明させて頂きます。

※長年一流企業のエンジニアをやりながら、見えない世界に興味をもち、いろいろな技法を学び自分独自のヒーリング法を開発した方です。健康改善に興味のある会員の皆様は、ご友人、知人をお誘いして、ぜひご参加願います。

◎飛沢誠一氏のプロフィール

某一部上場企業にて31年間技術開発として各種製品を開発に従事、研究所長まで務めた。30年前に不思議な体験を通じてヒーリング、チャネリング、アカシックレコードリ

今月号の記事

- ◎九月本部例会のお知らせ
- ◎年会費未納入の会員の皆様へ
- ◎御寄付御礼
- ◎十二月本部例会のお知らせ
- ◎関西日本サイ科学会九月研究会(ネット配信)のお知らせ
- ★十月第30回全国大会プログラム
- ◎第13回スピリチュアル研究分科会のお知らせ
- ◎第47回宇宙生命研究分科会予告
- ◎令和4年度通常総会の報告
- ◎令和3年12月本部例会の報告Ⅱ
- ◎第四六八回関西サイ科学会報告
- ◎インド・ヨーガ紀行(サイの広場3号アーカイブ)
- ◎ヒトはなぜ殺しあうのか？

◎年会費未納入の会員の皆様へ

「サイジヤナル3、4月号」に年会費納入用の郵便振替用紙を同封致しましたが、まだ未了の会員の方がいらつしやいます。

日本サイ科学会の活動は皆様の年会費で支えられておりまして、現在会計も厳しい状況ですので、是非早めのお振り込みをよろしくお願い致します。

ーディングを体得。会社勤務から人体はじめ土地、建物などのヒーリング・浄化方法など開発実践してきた。10年前このレイキ気功技術開発とその施術・指導に専念するため会社を設立、高次元レイキ気功を開発した。現在はその技術指導・普及活動に力を注いでいる。

「心を科学する博物館」と
一般の御寄付御礼

(8/10受領分まで)

金二十五万円也 匿名様
金三万円也 小林 信正様
金一万円也 森安 政仁様
金一万円也 小牧昭一郎様
金五千円也 柴山 春美様
金一千円也 赤松 洋一様

十二月本部例会のお知らせ

なりたい自分になる！筆跡の魔法

講師 芳田 マサヒロ氏

日時 令和4年12月10日(土)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ7階第一研修室

交通 J R京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

会費 会員二千円(当日入会可)

一般三千円 学生一千円

(内容紹介)

角々した文字を見て「なんかこの人頑固そう」とか、「ちんまりした文字を見て「気も小さそう」と、文字の書き手がどんな人か想像したと、みなさんも一度はありますかと思います。みなさんが「○そう」と感じたその感覚、実射を射ていることが多いんです。それは、書かれた文字に書いた人の人間性の一端があらわれているからに他なりません。

筆跡に人間性があらわれるとしたら、逆もまたしかり。筆跡を変えることで人間性が変わり、人間性が変われば環境も変わり、環境が変われば未来も、さらに運命を

も変えていくことができる。私が「筆霊」(ふでだま)と呼んでいる筆跡診断の不思議な力は、ここにこそあります。

講演では、みなさんにサンプル文字を実際に書いていただき、筆跡特徴と性格の関係を具体的にレクチャー。さらに、UFO*オーブシンポジウムでTOCANA賞を受賞した「宇宙人の筆跡と空間の概念」についても一考察を述べさせていただきます。

◎芳田マサヒロ氏プロフィール

日本筆跡仕事人協会代表。筆跡で個性を見抜き可能性を引き出す筆跡診断士。『S M A P × S M A P』『フンストップ！』『月曜から夜ふかし』出演、「女性自身」「女性セブン」「週刊女性」3大女性誌掲載、ラジオパーソナリティーなど、多方面で活躍中。著書に「筆跡の魔法」(飛鳥新社)。診断したクライアント数五千人超。芸能タレント文化人コンテスト2020グランプリ。第16回UFO*オーブシンポジウムでTOCANA賞受賞。

関西日本サイ科学会九月
研究集会(配信)のお知らせ

—宇宙人との遭遇—

講師 徳授院愛氏

日時 令和4年9月17日(土)

13:30

*まつむし音楽堂にて収録、配信(1階でモニター視聴可)

配信受講料 会員2000円

一般3000円

学生1000円

徳授院講師は、通常目に見えないものが見えるという特異な体質のために幼少時から多くの苦勞を背負って生きてきました。霊視と現実が交叉した職場での体験を経て現在はエステ、整体師として自立、ご活躍です。

関西日本サイ科学会では、とくに「宇宙人との遭遇」についてお話を伺うためお招きすることになりました。オンライン講座(ネット配信)となりますが文字による質疑応答は可能です。インタビュ―は本会会長、和田高幸(元産経

★日本サイ科学会 第30回全国大会★

(特別協賛：サトルエネルギー学会)

(日時) 2022年10月10日(月・祝) 10:00～16:40

(会場) 北とぴあ9階901会議室

(交通) J R京浜東北線王子駅下車徒歩2分、ホーム最北端(赤羽寄り)の階段を下り改札口を出て見える高層ビル

(会費) 会員 ¥3,000(含当日入会申込者) 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

上記会費は、予稿集代を含みます。

※サトルエネルギー学会会員は会員会費となります。

<プログラム> (敬称略)

9:30 開場

10:00～10:10 開会のご挨拶 浪平 博人 会長

◎第1部：会員の研究発表(4名)(各20分発表、5分質疑応答／1人)

10:10～10:35 鈴木 恵弓「手のひらから、自分という小宇宙にアクセスする～パーミストリケア」 *「パーミストリ」とは、手相術のことです。

10:35～11:00 鈴木 亜人夢「ライトビーイングの存在と南方熊楠思考」

11:00～11:25 志賀 一雅「赤ちゃんの脳波」

11:25～11:50 橋本 和哉「死者をあの世に上げるサイ科学的考察」

11:50～12:50 昼休み(60分)

◎第2部：シンポジウム テーマ「あの世とサイ」

12:50～12:55 大会委員長挨拶 小林 永周

12:55～13:00 司会進行 阿久津 淳(演者プロフィールを順次紹介)

13:00～13:40 小林 永周「死後の存続に関する検証ビデオ映像」

13:40～14:00 瀬尾 泰範「占星学的視点から見た輪廻転生」

14:00～14:20 三好 一郎「サイから見る生と死」

14:20～14:40 伏見 真光「葬儀供養から見た体験談」

14:40～15:00 石井 数俊「あの世のことも科学となる時代」

15:00～15:20 休憩(20分)

15:20～16:30 パネルディスカッション

16:30～16:35 会員優秀発表表彰式 浪平 博人 会長

16:35～16:40 閉会のご挨拶 久保田 昌治 理事長

17:30～19:30 懇親会(希望者：当日受付)

新聞記者、「未知の彼方へ」・神秘的のUFO写真集の著者が担当します。どなたでもご視聴できます。

関西日本サイ科学会サイト「研究集会」頁にある「受講のお申込みはこちら」ボタンをクリックしてお申込みの上、受講料を9月3日(土)までに同頁掲載のゆうちょ銀行口座までお振込みください。

●申し込みを受け付け、入金確認後に「URL」をメールで送信いたします。

【オンライン受講について】
受講にはPC、スマホなどインターネットが受信できる環境が必要ですが、たとえば「YouTube」が視聴できればほぼOKです。

第13回スピリチュアル研究分科会

テーマ「憑依現象と霊障」

講師 小林永周氏

日時 令和4年11月20日(日)

午後1時30分～4時30分

会場 北とびあ8階802号室

交通 JR京浜東北線王子駅下車

徒歩2分、ホーム最北端

(赤羽寄り)の階段を下り改

札口を出て見える高層ビル

会費

会員一千円(当日入会可)

一般二千円 学生一千円

*当日会場にて直接、現金にてお支払い下さい。

第47回宇宙生命研究分科会

第10回異能科学会議

テーマ「森羅万象…生命・虚空・黄金持続」

◆ ◆

日時 令和4年12月18日(日)

午前10時～午後4時30分

会場 滝野川会館 小ホール

交通 JR京浜東北線中里駅東

口下車徒歩7分、東京メト

ロ南北線西ヶ原駅下車徒歩

7分、JR山手線駒込駅下

車徒歩10分

参加費 一般 二千元

サイ・サトル会員、学生、60歳以上 一千円

宇宙人 0円(但し受付の要認可)

※事前参加申し込みは不要です。

※当日会場にて直接、現金にて参加費をお支払い下さい。

◆ ◆

森羅万象・宇宙を時間+空間(時空)とはみないで、虚空+時

空とみてはいかがでしょうか?

テーマを「森羅万象…生命・虚空・黄金持続」として、多様な領

域から森羅万象・宇宙を眺めてみ

ましょう! 会場は北とびあでは

なく、滝野川会館ですので、お聞

違いのないようお願いします。

皆さん、是非とも一年の締めく

くりをこのシンポジウムで有意義

にお過ごしください!

◆ ◆

令和4年度通常総会の報告

日本サイ科学会

会長 浪平 博人

◎令和3年度本部事業報告

1. 会員の現状(令和4年5月末現在)

名誉会員 1名

維持会員 3名

正会員 117名

学生会員 19名

準会員 26名

合計 166名

2. 講演会、研究集会

本部は10月の「創立45周年記念大会」を含み、計6回の例会・分科会を開催した。

◎本例会・大会(敬称略)

令和3年

4月18日(日)「会員の体験意見発表と討論の会」

10月23日(土) 創立45周年記念大会

シンポジウムテーマ

「サイと瞑想」

12月19日(日) 志賀 一雅「ESP

やPK現象を脳波で解明する!」

◎分科会

☆宇宙生命研究分科会

(世話役 阿久津淳)

令和3年

7月22日(木) 第43回「第15回UFO

O・オーブシンポジウム」

12月26日(日) 第44回「第9回異

能科学会議」

令和4年

3月26日(土)第45回「第4回ソクラテスシンポジウム」

☆スピリチュアル研究分科会

(世話役 小林信正)

令和3年度

コロナ禍のため、分科会は未開催です。

☆占星学と運命創造学の研究分科会(世話役 瀬尾泰範)

令和3年度

コロナ禍のため、分科会は未開催です。

3. 通常総会

コロナ禍のため、6月、9月が中止となり、特別処置として9月に常任理事と地方日本サイ科学会の会長への通常総会資料を送信、チェック承認いただきました。

4. 全国理事会・評議員会

コロナ禍のため、2021年度は未開催です。

5. 本部理事会

8月のメール配信理事会も含めて3回(第222〜224回)開

催した。

6. 出版物

「サイ科学」第43巻 第1号を発行した。

「サイジャーナル」第457号から第462号までを発行した。

◎令和4年度本部事業計画

・10月10日(月・祝)に第30回全国大会(シンポジウムテーマ「あの世とサイ」)を開催する。

・本部例会を6回(4、6、7、9、12、2月)開催する。

・宇宙生命研究分科会を3回(7、12、3月)開催する。

・スピリチュアル研究分科会を2回(5、11月)開催する。

・占星学と運命創造学の研究分科会を1回(1月)開催する。

・本部理事会を5回(4、7、9、12、2月)開催する。

・全国理事会評議員会、通常総会を1回(6月)開催する。

・サイジャーナルを6回発行する。

・論文集「サイ科学」を発行する。

・公式サイトを運営する。
・「心を科学する博物館 サイ科学遺産」の資料を整備する。
・その他

○活動方針として

・刊行物に種々の分野の解説・応用や新鮮な情報を増やす。

・会の活性化を図るため、例会等でアンケートを実施、活用する。

・謎、不可思議と思えるミステリー写真や映像などを募集し、展示発表する。

・体験型やセミナー(ワークショップ型)の例会を開催する。

・インターネットの公式サイトやメルマガリストを活用する。

・雑誌等の告知欄やメールマガジンに行事の予告を載せていく。

・地方日本サイ科学会との連携を深める。

・地方からも講師を招く。

・理事や若手の幹事(理事候補)、評議員を増やす。

・その他

◎地方日本サイ科学会

東北日本サイ科学会
会長 佐佐木康二

◎2021年度事業報告(敬称略)
2021年

4月10日 コロナ禍のため延期(第235回研究会)

6月12日 第235回研究会

*「サイ能力を発揮する『蛇口レバー』」 佐佐木康二

8月14日 第236回研究会

*「真の霊能とは抗ニトロン化能力のことだった!」 佐佐木康二

10月9日 第237回研究会

*「重力とは「カルマ」の蓄積のことだった!」 佐佐木康二

12月11日 第238回研究会

*「奇跡を起こす方法」 佐佐木康二

2022年
2月12日 第239回研究会
*「ミトコンドリア活性化による霊能発現」 佐佐木康二

◎2022年度事業計画

東北日本サイ科学会は、創始者岡田幸千生が掲げた目的、「聖人及び超能力者の先人たちが出来るだけ深く探求して、誰でも本来的に持っているはずの超能力を万人に成長させて人類の活動能力を本質的に高めること」を今後も目指し、次の事業を行う。

1. 定例研究会の開催

定例研究会を偶数月第2土曜日に開催する。先人や研究者の成果

に開催する。先人や研究者の成果

に開催する。先人や研究者の成果

を学び、また各人の知恵と知識を持ち寄る。サイ科学関係の著名人の講演会等は計画としては準備せず、機会がある折りに考慮する。

2. 「東北日本サイ科学会研究抄録」の編集

3. 長期研究テーマの推進

サイ現象の観測量化、気・意識の種類の見分け方、「念写」写真・「オーブ」画像等の分析・検証、意識純化・宇宙意識への目覚め、地震予知、数秘術・秘数の科学性の研究、フリー・エネルギー装置の研究、過去世・霊性・霊能の研究、食とサイ能力の関係の研究

4. 講演会等の開催

「念写実験」等のテーマで11月に実験会を開催する

5. 会推進スタッフの充実、本部会員・会員の勧誘

6. 「岡田文庫」(福来心理学研究所との共同事業)及びビデオ資料等の閲覧サービスマネジメント

中部日本サイ科学会

会長 眞野 博英

◎2021年度事業報告

コロナ禍のため、研究集会は未開催です。

◎2021年度事業計画

コロナ禍のため、現時点で研究集会は未定です。

北陸日本サイ科学会

会長 佐藤 禎花

◎令和3年度(2021)事業報告
令和3年

4月25日(日)

テーマ『祈りの力』

村上和雄先生追悼

5月16日(日)

第1部『オキシトシンと皮膚』

第2部『福来友吉「念写」について』

6月27日(日)

テーマ『心の使い方による体の変化』

10月24日(日)

NHKヒューマニエンスより

『ウィルス』、『怒り』

コロナ禍により講師のお招きが難しい為、佐藤会長が講師としてDVD映像を用いて少人数で実施。

◎令和4年度事業報告と計画

令和4年4月24日(日)

DVD映像を用いて少人数で実施。

◆イ・ミー」より

※メキシコの骸骨祭(日本でいうお彼岸・お盆のようなもの)をモチーフにした映画で、生きている身内の人に思ってもらえないとあの世で二度目の死を迎えるという内容をとおり、身近な亡くなった方やご先祖様を思う事の大切さを学んだ。

コロナ禍により講師のお招きが難しい為、佐藤会長が講師としてDVD映像を用いて少人数で実施。

8月14日 夏期放談会

9月18日 井上正康「コロナ禍の深層」

10月16日 難波双六「数字で読み解くヒトとセカイ、ミライ」

11月13日 橋本和哉「マイナスの『気』エネルギーを防御するには」

12月18日 2021年放談会(懇親会)

2022年

1月15日 水口清一、竹田稔幸

「デジタル化で変容する近未来」

「変貌する世の中。備えは万全か」

2月19日 河邊敦子、森本まどか、田中実子(ピアニスト)「歌声の効用」健康につながる声の力」

3月19日 志賀一雅「脳波と超能力」ESPやPK現象を脳波で解明する」

◎2022年度事業報告と計画

4月16日 岩熊裕明「人生の大転換を画した竹炭の効用」

5月14日 山中雅志「見えない世界のリアル」能表現とサイ科学の接点を探る」

◎関西日本サイ科学会2022年度(10月以降)事業計画について

事業の告知、実施はすべて独立

採算となっており、従来実施して来たには累積赤字の抹消を実施、あらたな体制で臨みたいとかがえています。

したがって、従来実施してきた幹事会、研究会をはじめ、事業の動員や告知方法などについても見直す予定です。そのため、研究会会当日におこなっていた幹事会は独立して実施、じっくり討論できる時間と会場を確保する予定です。

研究会については、講師の選定や動員見込みなど総合的に検討し、休会することもありますのでご了承ください。

なお研究会については、感染症予防の観点だけでなく、会場設定やアクセス、動員数を問わないなどの理由から9月からオンライン(オフライン併用)での実施を予定しています。

分科会については従来どおり実施したいと考えています。

九州日本サイ科学会

会長 伽羅

令和3年度事業報告

コロナ禍のため、研究会は未開催です。

令和4年度事業計画

現時点では未定ですが、開催が決定しましたら「サイジャーナル」と公式サイトでお知らせ致します。

令和3年度決算報告

収入			
項目	予算	項目	決算
会費	1,500,000	会費(正)	877,000
例会	300,000	会費(学生)	114,000
寄付	400,000	会費(準)	110,000
本・他	50,000	会費(維持)	80,000
繰越金	1,384,723	会費(賛助)	0
合計	3,634,723	入会費	10,000
		例会収入	136,000
		本会寄付	811,000
		本・他	16,260
		広告料	0
		前年度繰越金	1,077,723
		合計	3,231,983

支出		
項目	予算	決算
ジャーナル発行	500,000	562,100
会誌発行	250,000	273,900
人件費	1,000,000	1,064,000
例会会場費	150,000	144,420
講師謝礼	120,000	32,000
事務用品	120,000	106,330
郵送・配送料	50,000	32,526
通信費	40,000	43,711
会議・打合せ	60,000	29,690
交通費	10,000	0
事務所維持費	150,000	143,285
郵便・銀行振込料	7,000	9,050
予備(予稿集印刷代)	100,000	92,565
来期繰越金	1,077,723	698,406
合計	3,634,723	3,231,983

令和4年度予算

収入		支出	
項目	金額	項目	金額
会費	1,100,000	ジャーナル発行	500,000
例会	300,000	会誌発行	250,000
寄付	500,000	人件費	1,000,000
本・他	30,000	例会会場費	150,000
繰越金	698,406	講師謝礼	100,000
合計	2,628,406	事務用品	100,000
		郵送・配送料	30,000
		通信費	40,000
		会議・打合せ	50,000
		交通費	10,000
		事務所維持費	150,000
		郵便・銀行振込料	10,000
		予備	100,000
		来期繰越金	138,406
		合計	2,628,406

令和4年度日本サイ科学会役員構成(*印は新任または改選)

名誉会員 品川次郎
特別会員 トレイシー・アッシュ (Tracey Ash)

名誉会長 佐々木茂美
会長 浪平博人
理事長 久保田昌治
副理事長 小林信正
顧問 品川次郎

地方会長兼理事 関西日本サイ科学会名誉会長

河野明夫

東北日本サイ科学会会長

佐佐木康二

中部日本サイ科学会会長

眞野博英

北陸日本サイ科学会会長

佐藤禎花

関西日本サイ科学会会長

和田高幸

九州日本サイ科学会会長

伽羅

理事(常任理事を含む)

阿久津淳*、小林泰樹、

小牧昭一郎*、志賀一雅、

徳永康夫、中島敏樹、

鯨江勇、橋本和哉*、

苗鉄軍、森安政仁*

幹事 小澤佳彦*

評議員

占部浩一*、瓜生昌代司、

鴨川裕司、川村隆夫、

小林隆文、佐藤ひろ子、

谷口五月、飛田洋子*、

三浦良江

監事 石川允明*

基幹論文賞表彰

今年度は該当者はありません。

◎ 功労賞表彰
今年度は該当者はありません。

令和3年12月本部例会報告Ⅱ

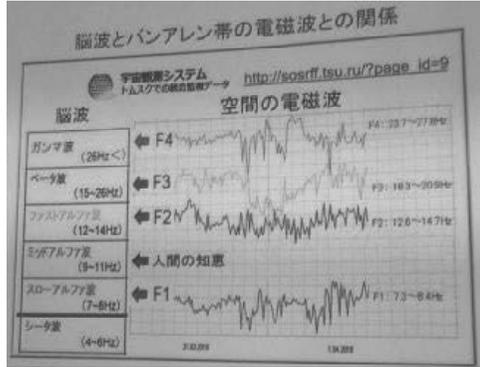
ESSPやPK現象を脳波で
説明する！

講師 志賀一雅氏



ふと私は勝手に思ったのですが、「ちよつと待てよ、これらのピークの周波数と脳波の周波数の分け方は一致するのではないか」
F1がスローアルファ波、F2がファーストアルファ波、F3がベータ波、F4がガンマ波です。だから脳波というのは、空間に

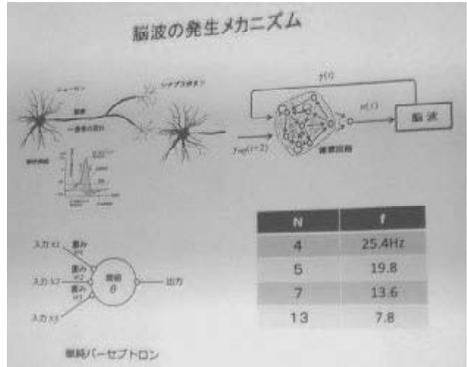
電磁波があることによって細胞が揺さぶられて、その揺さぶりの周期がうまく合うと循環回路が形成されるのであろうと想像されます。そうすると「脳波の発生機序」というものを考えることができるのではないかと思います。



このグラフの空間電磁波F1とF2の間に、9~11Hzのミッドアルファ波の隙間があります。円周率の4万桁暗記とか将棋の閃きなどは人間が考えたものですね。自然界にあるものとはまた別なんです。そういう力を発揮するのが人間の知恵であり、ミッドアルファ波だと思えます。ですからミ

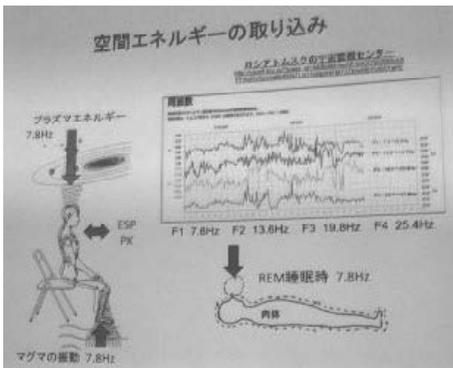
ッドアルファ波を強くすれば強くするほど、アイデアが豊富でいろいろな仕事ができるけれども、それで終わってしまうということでしょう。

ミッドアルファ波よりも低い周波数のアルファ波、あるいは高い周波数の脳波を出すようにすると宇宙空間とのコミュニケーションができるようになります、ちよつと思えました。



右図の左上図は人間の脳の神経細胞ニューロン、シナプスのモデルでこういう回路で情報が伝えられます。左下図がそれを単純化したパーセプトロンの回路です。右上図は循環回路のモデルです。

その回路を構成するニューロンの個数を4個とすると循環のスピードが25・4Hzとなります。ニューロンの個数を5個とすると19・8Hz（ベータ波）、7個とすると13・6Hz（ファーストアルファ波）、そして13個とすると7・8Hz（スローアルファ波）となります。これが宇宙とコンタクトするのに要の周波数となっております。大脳皮質から辺縁系を通じて脳幹の奥の方までさらに行くと、13個位の神経回路が形成されるのです。



実際に電離層によるプラズマ振動の毎日のデータは、ロシアトムスタクの宇宙監視センターのサイト

で3日遅れくらいで見ることができません。私はこれが脳波とカップリングしているなどというふうに思っております。直接的な証明は難しいのですが、間接的な証明はできます。

私たちは日中このように過ごしているときは、五感が働いて身近な刺激に対してレスポンスする脳状態なんです。こういう空間にある電磁波とは違う人類の知恵を働かすミッドアルファ波の脳波が強くなるのですが、夜寝るときは思考活動がなくなるので、なぜか分からないけれどもだいたい90分おきに来るレム(REM)睡眠のときに脳波が強くなります。レム睡眠のときの脳波を測りますと、びっくりしましたのはこのような脳波(前の図)なのです。皆さんはレム睡眠のときに宇宙とつながるんですね。

我々は食べたもののエネルギーで生きていると常識的には考えているのですが、正直ちよつと考えてみますと皆さんが日常食べたもののエネルギーで60兆個の細胞がかいつと動いて生きて行動できるとは思えないのです。全然エネルギーが足りないのです。足りな

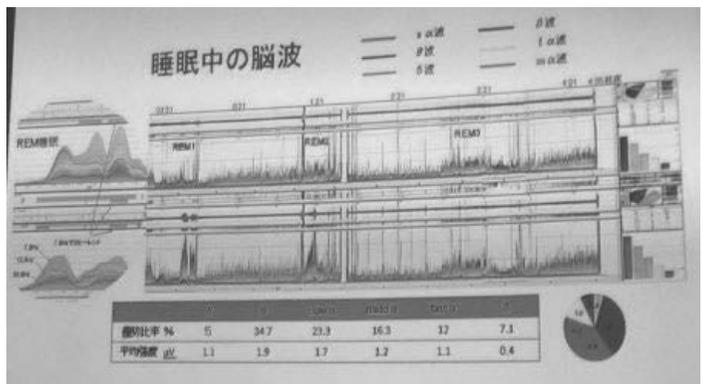
い分をどうやって補うかという、夜寝ているときにバンアレン帯の電磁波を吸収しているのではないかな、と私は思っております。

日中もバンアレン帯の4つの周波数は来て、人間の脳波と共鳴しております。その4つの周波数を受けて共鳴がより強い人がESPやPK能力を発揮します。

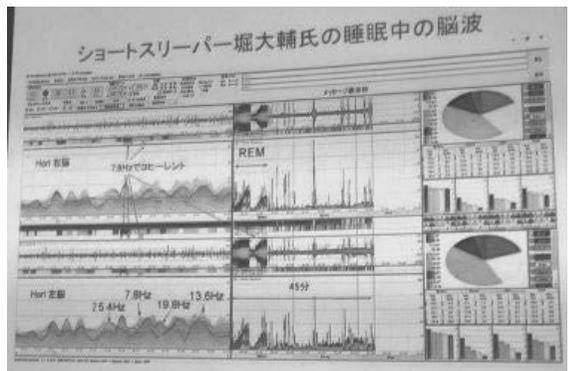
普通人の我々はESP能力もPK能力も発揮できないのです。なぜ発揮できないのかというと、せつかく天から来ているプラズマエネルギー、あるいはマグマの振動(7・8Hz)から来ているエネルギーを活かしていないのです。

下図は私自身の睡眠中に測った脳波です。

第1回目のレム睡眠は就寝後ちよつと1時間半後にきています。その後も1時間半おきにレム睡眠が来ております。そのレム睡眠時の脳波をずつと調べてみますと、その構成している脳波の周波数は7・8Hz、13・6Hz、19・8Hzです。図の上の段が右脳、下の段が左脳です。右脳も左脳も非常にシンクロして共鳴しております。



次の図はショートスリーパーの堀大輔氏の脳波です。彼は1日45分間睡眠を6年間続けているそうです。確かに眠つてすぐにレム睡眠がきて、その後レム睡眠からキヤッチしたエネルギーと情報を脳の中で処理しているのではないかな、と考えております。



2015年2月の日本サイ科学会本部例会でスワミ氏が「物質化現象 無から有は生じる」というタイトルで講演をされました。

タイにある洞窟で物質が生じるというレポートを話されました。「天の扉開き」という表現をしております。

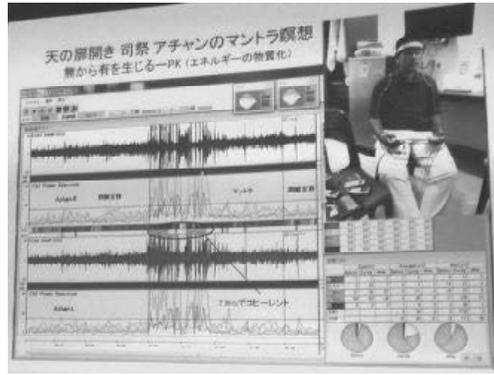
私はその動画を見させていただけですが、正直ちよつと驚きました。「わあ、すごいな!」と思いきや、実際に見てみたいと思いましたが、幸いなことに2ヶ月後の4月上旬にまたツアーがあるということ

です。

で、予約して行ってきました。行く前の1ヶ月間はベジタリアンで過ごし、大きな洞窟ですが、マントラを唱え身を清めて入りました。洞窟の中は真暗いのですが、抜けた布状の膜に、ピカッと光って物質がすごい早さで沢山落ちてくるのです。1回見て感動し、その年の秋にも参加しましたし、なんだかんだで結局7回ツアーに参加して、物質化現象を目撃しました。そのご褒美でいただいたのが次の写真右下の物たちです。これらは大事に家の祭壇に置いて、冥想しております。



洞窟の中では何人かのお坊さんが取り囲んでマントラを唱えるのですが、その中心にいるのがアチヤンという方です。すごい方なので、ホテルの部屋で洞窟の中で唱えたマントラを唱えていただきながら脳波を測らせていただきました。



最初は目を閉じて静かにしている右脳の状態と左脳の状態、次にマントラを唱えた時の脳波はノイズも含まれますが、非常に強い電磁波が脳から出ました。

空色に塗りつぶされている部分(楕円で囲まれたところ)は7・8Hzでコヒーレントしています。

出現物の組成

出現物	成分 (E.A.%)	組成成分 (E.A.%)
出現物1	SiO2(17.2%)	Al2O3(1.7%), CaO(2.1%), FeO(18.1%), TiO2(0.1%), Na2O(11.0), P2O5(0.17%)
出現物2	SiO2(18.2%)	Al2O3(1.4%), B2O3(0.7%), CaO(0.3%), FeO(2.0%), TiO2(0.1%)
出現物3	SiO2(17.3%)	Al2O3(1.2%), CaO(2.0%), FeO(18.1%), TiO2(0.1%), Na2O(11.0), P2O5(0.17%)
出現物4	SiO2(17.4%)	Al2O3(1.4%), CaO(2.1%), FeO(18.1%), TiO2(0.1%), Na2O(11.0), P2O5(0.17%)
出現物5	SiO2(17.5%)	Al2O3(1.5%), CaO(2.2%), FeO(18.2%), TiO2(0.2%), Na2O(11.1%), P2O5(0.18%)
出現物6	SiO2(17.6%)	Al2O3(1.6%), CaO(2.3%), FeO(18.3%), TiO2(0.3%), Na2O(11.2%), P2O5(0.19%)
出現物7	SiO2(17.7%)	Al2O3(1.7%), CaO(2.4%), FeO(18.4%), TiO2(0.4%), Na2O(11.3%), P2O5(0.20%)
出現物8	SiO2(17.8%)	Al2O3(1.8%), CaO(2.5%), FeO(18.5%), TiO2(0.5%), Na2O(11.4%), P2O5(0.21%)
出現物9	SiO2(17.9%)	Al2O3(1.9%), CaO(2.6%), FeO(18.6%), TiO2(0.6%), Na2O(11.5%), P2O5(0.22%)
出現物10	SiO2(18.0%)	Al2O3(2.0%), CaO(2.7%), FeO(18.7%), TiO2(0.7%), Na2O(11.6%), P2O5(0.23%)

日本物理学会で発表

日本物理学会 2019年秋大会 観覧券
 刊 行 日 2019年10月20日
 刊 行 地 東京都千代田区
 刊 行 所 日本物理学会
 刊 行 代 1500円
 刊 行 費 1500円

無から有が生じる物質化現象「天の扉開き」と出現した物質に関する研究 II

ATB 総研
 松原広幸, 小澤佳彦

A study II that on the "Amanotobirabiraki" which is the materialization phenomenon that occurs from non-existence and a study on the emergence of materials.

ATB Research Institute.
 H. Matsuura, Y. Ozawa



本会の幹事である小澤さんが「天の扉開き総研」という研究所を創って、この現象を一生懸命研究しております。2019年の日本物理学会では、降ってきた物質の組成分析を発表しています。その分析を紹介すると、透明のものはほぼシリコンの酸化物であり、その他は銅とかスズとか鉄とかが不純物として少し入って色が付くようです。ということは空間に存在している原子をかき集めて物質化することです。

Fig.2 長野の山頂での物質化出現物写真

日本においても長野県の山頂で物質化現象は起きており、タイでなくても洞窟でなくても、物質化現象は起きております。それはバンアレン帯の波長が30万キロメートルですから、タイの洞窟であろうと日本の山頂であろうと電磁波的には同じです。

インドのジャイナ教で最高の占星術師バブルジが手相診断をしているときの脳波を測定しました。やはり7・8Hzでの共鳴がよく出ております。(続く)



第四六八回関西日本サイ
科学会研究集会報告

「人類史と見えない『音』の世界」の調性、周波数・音のあれこれ

講師 河野正孝氏
(指揮者、オーボエ奏者、関西室内楽協会代表)

日時 令和4年7月16日(土)
会場 まつむし音楽堂



「言語」に先立つ「音」の知覚は人類の歴史に大きな影響を与えてきましたが、音の影響力についてはあまり知られていないのが実情ではないでしょうか。講師はヨーロッパで西洋音楽を学びオーケストラの中枢となるオーボエ奏者として、また指揮者として音の世界を横断、実践してきました。その経験から「見えない」音の世界を探求、多くの知見を得たといえます。



今回は楽曲の調性や音程、さらに周波数など、生体に与える影響についてもお話いただきましたが、専門的に掘り下げた音楽の話はともかく、芸術の美学的な側面についてよく理解できたと好評でした。

講師プロフィール・河野正孝

KONO MASATAKA

大阪音楽大学、ドイツ・フライブルグ音楽大学卒業、オーボエをハインツ・ホリガーに、ハノーヴァー音楽大学(卒業)ではインゴ・ゴリツキに師事。帰国後、関西室内楽協会、大阪チェンバールケストラを設立して室内楽活動を積極的に行う。1989年大阪市「咲くやこの花賞」受賞。また、ソリストとしてリサイタルや

大阪フィルハーモニー交響楽団との共演など活発に演奏を行い、宝塚バグコンクール審査員、大阪芸術大学准教授、読売室内楽コンクールアドヴァイザーなどを務める。関西室内楽協会主宰、大阪チェンバールオーケストラ代表。やまなみグリーン管弦楽団音楽監督。



サイの広場第3号(1985年
4月発行)アーカイブ

インド・ヨーガ紀行

実藤 遠

ところ変われば見方も変わる

『サイ科学』八巻一号の「サイ科学寸言」で関英男先生は、サイ科学とは「普通一般には知られていないエネルギーを媒介にして、心と心、心と物、および物と物との間に発生する現象を科学的に研究する」学問であると明確に定義された。現在米ソではこの「生体プラズマエネルギー」を軍事的に利

用しようとしている。

一方人類は太古からこの不可視のエネルギーを「気」といい「プラーナ」といい「オルゴン・エネルギー」といつて、自然治癒力のように健康や幸福のために追求してきた。まさにサイエネルギーの用途は人類の幸せにも破壊にも通じる両刃の剣なのである。私はもちろん平和と健康のためにサイ科学を研究している。

私は一九七九年には二回にわたって訪中して気功を学び「気」のエネルギーについて学習してきた。本一九八五年は二月六日から二〇日までインドで瞑想法を学び「プラーナ」について学習する機会を得ることができた。これは一月に本学会の新年サイ大会で講演をしていただいた、ブラーマ・クマリス・ラージャ・ヨーガの日本センターの指導者である高塚志づ子先生の指導と好意によって実現したものである。インド研修中には高塚先生ののお世話と同時通訳によってこの世界の神髄を理解することができた。ここに改めて先生に感謝とお礼を申しあげる次第である。

私は二月六日に成田をたち、七

日にデリー、八日にアグラを見学し、九日から十三日までにはインドの避暑地、マウント・アブにあるグラーマ・クマリス・ワールド・スピリチュアル・ユニバシティ（ここがこのラージャ・ヨーガの本部）で行なわれた世界平和会議（世界約四十ヶ国、一五〇〇名参加）に出席し、ひき続き十七日までラージャ・ヨーガの瞑想の指導をうけた。十七・十八日はインド最大の綿工業都市・アーメダバードに滞在し、二〇日には無事帰京することができた。

頭の中にはインドについての書物や教科書からの予備知識はもっていた。しかし「百聞は一見に如かず」で毎日が新しい発見の連続であった。インドといえればカースト制度とか貧富の差のことがいわれている。ニューデリーに行けば整然たる都市計画の中に、たつぷり場所をとった役所や大使館、上流社会の人が住む高級住宅はそれぞれが立派で、東京の田園調布というよりは、すべて旧軽井沢の大別荘あるいは田中邸クラスの家ばかりである。これはニューデリーばかりでなく地方都市であるアーメダバードについてもいえる。

インドの大統領官邸は世界一の官邸だそうで三百からの部屋がある豪大な大宮殿であった。

ところが古くからのインド人の町であるデリーへ行けば、間口数メートルほどの小商店や日本であれば屋台で物が売られている。人は道路にもあふれ車もなかなか進めない有様である。これなどはよい方で、町の中には何箇所も汚れた天幕や泥や棒切れを集めて作られたバラック小舎が立ち列んでいる。ガスも水道も電気もなく、家の中にも家具はほとんどみあたらない。アーメダバードでは川の堤防の上には高層建築が立ち並び、そのすぐ下の河川敷にはそのような小舎がびっしりと埋めていた。よくみるとその部落の中に教会があるではないか。ビジネス街や貯水池の周囲もそうであった。

バスで田園をいけば、道路を走る文明の利器を眺めながら悠々と用を足している人もみられる。インドへ行くとその光景が自然と人間のえもいわれない調和と感じられるのだから妙なものである。川でも同様で、その近くでは洗濯をしている人もいる。二月のインド

は乾季で十五度から三十度位の温度で快適なシーズンである。しかし酷暑の季節や七月からの雨季にはこのような人はどうして暮すのだろうか。またこのような環境だから一日中町へ出てたむろする人々も多いのだろう。事実町には一日中人があふれて独特の活気あふれた情景を現出していた。

インドの町には牛、羊、ラクダが同居している。動物たちは人間に危害を加えられるおそれがないためか実に悠然としていている。車は動物が道路にいと徐行したり止つたりする。車といえはインドでは日本製の自動車をほとんどみなかった。乗用車といえは日本では昭和三十年代に多かった、イギリス製のヒルマンやオースチンと同型の全体が丸みをもった車である。それよりもはるかに多いのはオート三輪のオートリキシャやリキシャ（人力車）である。

マウント・アブの二千人を収容する大講堂の隣にも土と棒切れからできた小舎が立ち並んでいる。その住人、とくに女性は実によく働く。頭に物をのせて一日中かいがいしく物を運んでいく。しか

も実に表情が素直で明るいのである。ラージャ・ヨーガセンターの仕事もよくやってくれている。両者はもちつもたれつの調和の関係にあるのだ。これをみて私は三つのことを考えた。

①西欧や日本のように解放だとか平等をさげんで社会運動に走るのではないこの社会は、あまり摩擦やストレスがなく社会が安定し、自然そのものであることを感じた。

②もちろん私はこのままの状態が良いとは思わない。しかし西欧のものさしでこの国の貧民をみるのもまがいなのかもしれない。

③この人たちの精神的バックボーンは、どうもインド人のカルマの思想ではないかと考える。すなわち今の境遇は前世の因果が、この世に現われたものだ。しかしこの世でよい行ないをしていけば来世はよくなるだろう、というような考えがあるのではないかと想像したりした。よく考えてみれば日本にも戦前には貧民窟があり、この状態と大同小異の人たちが住んでいた。ある意味ではタイムマシンで数十年だけ時間を逆行させただけなのかもしれないと思った。

世界平和会議に出席して

二月九日から十三日まで行なわれた「世界平和会議」(Universal Peace conference)は世界数十カ国、約一五〇〇人が集まった人種・民族にとらわれない平和の祭典であり、本年が第三回目であった。以前は来賓としてダライラマやインド大統領が出席したが、本年はインド副大統領夫妻が列席して祝辞をのべた。今日七五二カ所のセンターが世界の三五カ国にあり、一九七九年には国連広報部非政府組織の諮問機関として登録され、このセンターからも国連に役員を派遣している。全体会議には各方面の代表がきて挨拶をのべ、そのあと法律家、教育者、女性、青年、科学者、医学者等の専門分野のワークショップに分かれて討論を行なった。私は教育、医学者、科学者のワークショップに出席した。ここでいう平和とは、世界中の人が自分の内面に平和をみいだすことに主眼がおかれている。瞑想と健康の関係について、アメリカのハンサ・ラバル博士は次のようにいっている。

「どのような病気も瞑想で直す

ことができる。ただし、ひとりひとりがその深さを理解し信頼をもったときに。アメリカのドクターたちは感情が病気の根源であることを証明している。多くの人は精神的療法を宗教だと思っている。そこから混乱が起こる。魂は形而上のもので感情を作り出す。そこにはシステムがあり、バイブレーションのフリーリングを中性子が伝達し、ニューロンを通し肉体に達する。混乱した情動が病を作る。感情的に静かであれば病気はない。しかし感情を変えるのは難しい。医師は魂にすべての援助を与えられない。もしも百パーセント完全な存在である至高者からエネルギーが与えられるならばすべての病気は治る。たった一つの崇高な存在をうけいれれば。」

ドイツの科学者ブランク博士は科学について次のようにいっている。「科学とはニューサイエンスのことで、精神的パラダイムなくして科学はない。一つの存在が宗教だけでなく科学の中にも必要である。バラの美しさを測ることができるだろうか。美はリアリティで美しさは全体的である。科学は計算したり測定したりするだけで

はあきたらない状態になってきた。意識とはスピリットのことで機械で測ることはできない。電子にさえ意識(個性)があるといわれてきた。知識・記憶・行動・愛は精神的なもので、物質とは一定の形を作っているものにすぎない。科学のよい面を無視してはいけないが、科学が現在十分な道具としていないのは精神的な面である。」

私のこの会議でえた教訓は、サイ科学を平和のため、平和な魂のために使うべきだということを確認した。

ラージャ・ヨーガの瞑想を学ぶ

四日間にわたる世界平和会議のあとに二百人ばかりの人々が残って瞑想の実習を行なった。私もこれに参加したが、参加者のうち西欧の人々が約半数はいた。いかにキリスト教文化の洗礼をうけた者が、新らしい(東洋の)えい智を模索しているかがこの事実からうかがわれる。この創立者プラジヤピタ・ブラーマはインドの宝石商を営んでいた。一九三七年、深い瞑想状態の時、巨大な力であり、米である誰かが自分の中に入

ってくるのを感じた。そして現在の世界の巨大な崩壊と新しい未来のゴールデン時代のビジョンを見た。その後彼はこの新しい世界を創造するため、その使命を担うことを実感し精神的知識を広げる活動を開始した。このヨーガの学習者に知識人が多いのは、瞑想をはじめ実践心理学、世界史、空間・時間・意識の物理学をはじめとする知識に重点がおかれているからである。またここにおけるサービ

ス活動はいつさい無料でボランティア活動として行ない、すべて生徒・教師による任意貢献により賄われている。

今日われわれは「本当の自分とは何か」について肉体や自分自身の外観を自分自身であると思いついでしまっている。ここではお互いの挨拶のときに「オーム・シャンティ(OM SHANTI)」という。これは私の本来の姿は「平和な(そのものの)魂である」という意味である。このラージャ・ヨーガの特徴は次の通りである。

- ①意識をひたいたの真中(第三の眼)にもつてくる。
- ②目を開けたまま瞑想する。
- ③あなたの意識を、人間、預言者、

天使すなわち形あるものを越えた非物質的な、小さな光の点である至高な魂(これが神)に向ける。

④常にまわりの人々をあなたの兄弟としてみ、姿、顔、性格にとらわれず、魂としてみる。他人も光の点として感じる。

このヨーガはひたいたの真中からはじまり、他のヨーガはひたいたの真中で終る。チャクラの説明は不要であり、特定のマントラも唱えない。目を閉じると無限のイマジネーションが起こるが、目をあけて小さな光の一点に集中すると、「見ていてもなお見ず、他に影響されない」状態になる。心は子供のようできままなものである。このうつろいやすい心をトレーニン

兄弟・家族としてみる。

この物質界はドラマのステージで私たちひとりひとは役柄をもった演技者だが、私の本当の家ではない。肉体は親から、魂は神から与えられたものである。魂の家は物質界を越えている。どうして魂は平和を好むのか。魂の永遠の資質は平和そのものだから。魂は平和な完璧な沈黙の地、黄金の光に包まれた世界をルーツとしているのである。

目をあけて行なう瞑想は、日常の行動をしている間にもソウル・コンシャス、(魂の意識)の状態を達成することをねらいとしている。これをカルマ・ヨーガという。

瞑想は、自己の内なる点(アートマン)つまり自己の内面の奥底に集中する。マントラへの集中や呼吸訓練にはよらないで、「小さな光の点」に心を集中し、知識を通じて、心を導くことによっておこる目覚めを大切にしている。ハタヨーガのような体操のようなものは肉体にとってはよいが、魂の浄化のためには役立たないとしている。やり方は簡単であるが奥の深い瞑想法である。授業前に生徒に行なわせれば教育上の効果も考えられる。

歴史の転換点とサイ科学

このヨーガの歴史観は五千年を一つのサイクルとし、それを四等分して一二五〇年ずつを一つの時代とみている。

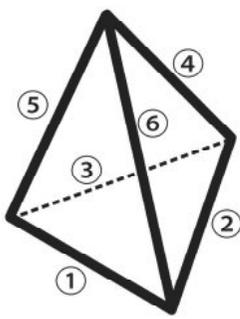
- ①黄金の時代、五千年前から三七五〇年前まで、魂の純粹の時代。
- ②銀の時代、今から二五〇〇年前まで、魂の純粹性が失なわれた。
- ③銅の時代、ソウルコンシャスからボディ(肉体)コンシャス(意識)に代わった起点が今から二五〇〇年前であった。この時代東では仏陀、西ではキリスト等があらわれて教えを説いた。
- ④今は鉄の時代で唯物主義がはびこり、宗教も××派というように分裂しバラバラになってしまった。

今は鉄から再び黄金の時代へ、最低から最高の状態に移る前夜である。このヨーガの創始者ブラーマがみた未来のゴールデン時代のビジョンとはこれで、ヨーギたちが一定のレベルにまで達したとき世界の大そうじが行なわれるという歴史観である。(続く)



⑥ 二分法／勝ち組負け組、YES or NO、○か×、好きか嫌いか、Coffee or Tea、戦勝国と敗戦国など、とかくこの二つに分けたがる癖がある。これは神か悪魔か？の一神教の世界観である。ニッポン人は元々はこうではなかった筈。むしろ曖昧模倣として、Japanese Smileは薄気味悪いと倦厭されたもの。この二分法の考え方は、敵か味方かに二分し、戦いが誘発されやすい。つまりたまたまの事故や勘違いが偶発戦争を起こす原因となるのである。

ここまで6つの観点から「ヒトはなぜ殺しあうのか？」を眺めてきた。軍産複合体は経済*社会学、ミラーニューロンは生物*脳科学、近親憎悪は心理*文化人類学、グリッドは地質学*生物物理学、粹の構造は民俗学*社会心理学、二分法は哲学*神学にあてはまるだろう。①から⑥までを正四面体に当てはめてゆくと、<殺る気の構造>が明確になる。



ではこの構造を肥大化することなく、極小化して、平和な方向にシフトすることはできないのだろうか？

① 資本主義のプラグマティズム（物質主義）と社会主義／共産主義の唯物論は結局その経済の特質上、軍産複合体の肥大化に向かう。これを回避するには精神主義（PSI）に方向転換するしかない！

② ミラーニューロンのこの快感はある種カニバリズムを求める。戦争を回避するには代

替物として、プロレス、K-1などの格闘技、残虐な映画、演劇などの芸術作品を効果的に活用するしかない。3S（スポーツ*セックス*スクリーン）の効用は愚民政策としてではなく、カニバリズム回避のためにこそ、必要なかもしれない。

③ 近親憎悪をなくすには、お互い共有の目標をたてること。呉越同舟は目的地を目指すから成立する。ロシア*ウクライナや米中であれば、宇宙人との交流を競い合えばよいのである。

④ 聖地は宇宙パワースポットとして地球人類共通のエネルギーグリッドとして共有し、ケガレチを炭素埋設したり、結界を張ることで、イヤシロチ化してゆき、ほどよい土地へと改良してゆくのである。

⑤ 男らしさや女らしさを振舞い、満喫するには祭りを盛大に行うことである。少し血しぶきがあがるぐらいのやや危険なお祭りの方が良いかもしれない。恐怖心が安全や平和を希求するからである。LGBTQの場合は、程よい形で多様性をエンジョイすればよいのである。

⑥ 曖昧な返事とか、優柔不断な態度とか、さんざん批判され、全てYES-NOのマークシート方式に置換されてきたが、実は微妙なるグラデーションはいわば美学なのである。全て三原色で描かれた絵画は美しいだろうか？カラオケだって多少音程が外れている方が味があるではないか？

<殺る気の構造>正四面体を極小化し、非硬直化すること。つまり柔軟に生きることが、殺伐とした地球から脱出する方法ではないか？と思うのである。

（本稿は2022年6月15日に御茶ノ水の文化サロン風風風でのプチ講演の内容が基となっている）



〒271-0047 千葉県松戸市西馬橋幸町41-506 日本サイ科学会発行
電話 047-347-3546 FAX 047-330-4091 E-mail office21@psij.mail-box.ne.jp
公式サイト <http://psi-science.org> ML申し込み先 office21@psij.mail-box.ne.jp

ヒトはなぜ殺しあうのか？

阿久津 淳（科学問題研究者）

フロイドやアインシュタインが頭を悩ました難問に時代を超えて挑戦するのは一見無謀には思えても、意味があるかもしれない。というのも彼らの時代から更に社会学的データが積み重なり、科学的知見も蓄積されてきたからだ。「ヒトはなぜ殺しあうのか？」6つの観点から私なりに考察してみよう！

① 軍産複合体／私たちの国家が一つの株式会社とすれば、軍産複合体は多国籍企業。死の商人から進化したため、情報は先取りしつつ、敵対するAとB双方に誤った情報で刺激を与え、武器を大量に買いこませ、戦闘状態にして、武器を消費し、最新鋭の武器開発をしつつ、軍需産業を拡大してゆく。資本主義国ばかりか、社会主義国家、共産主義国家が国家資本主義化する中で、アイゼンハワーが警告したように、軍産複合体が世界を牛耳るようになったのである。

② ミラーニューロン／困っている人を見ると、どうしても助けたくなる。悲劇のヒーロー、ヒロインに同一視して涙を流してしまう。これはヒトの優れた一面ではあるが、その反面は実に恐ろしい。TVや映画で殺された主人公に同一視して、「ああ、殺された！」とを感じる。その時に反射的に快感物質であるエンドルフィンやエンケファリンが脳内に分泌される。だが実際に自分が殺されたわけではないから、何一つ怪我もせずに、快感物質だけが残存することになる。他人の不幸は蜂蜜の味というのは正にそのことで、平和を希

求しつつ、他人の血しぶきがパブロフの犬のようにやがて快感に結びつくようになる。

③ 近親憎悪／弁護士の先生に聞くと、両親の遺産相続の際の兄弟姉妹同士の争いがもう見るに堪えられないという。似て非なる存在に対する憎しみは日韓、日中問題にも浮上するし、ロシア*ウクライナ戦争もまた同じかもしれない。似て非なる微妙な違いが生存競争の敵と認知して、不快に感じるのかもしれない！

④ グリッド／日当たりのよい土地もあれば、日陰の土地もある。イヤシロチもあれば、ケガレチもある。不動産でも事故物件では不幸が続いたりして、安価で販売されたり、家賃が安かったりする。地球全体に張り巡るパワースポットはエネルギーグリッドといわれ、聖地でもあり、それ故に奪い合う紛争地帯でもある。

⑤ 粹の構造／男は男らしく、女は女らしく振舞う風潮はLGBTQの今日にあっても消失してはいない。むしろ男と女の二重性が逆にLGBTQの時代を創っている感じにもみえる。ニッポンには粹というのが男にも女にもある。近いのはフランスのダンディズムだが、女性のダンディズムは果たしてあるのかわからない。民族や部族によって異なるが、この男らしさが戦いのキーワードになっているのは否定できない。男らしく、お国のために戦ってこい！という構図である。